

## (2) 親子パソコン10か条

# 親子パソコン10か条 解説編

## 『そこで約束!』



### 1. パソコンはみんなが見えるところに置く。

有害サイトの閲覧やブログの炎上など、インターネットに接続したパソコンには危険がいっぱい。誰も見ていない所ではつつい興味本位のアクセスをしたくなります。だけど、悩みを抱えこんでしまいました。

パソコンはリビングや居間など、家族みんなの場所に、ディスプレイが見えるように設置しましょう。ノートパソコンを各自が1台、接続は無線LANで家中どこでも、などというのは問題です。

### 2. ログインするときに、パスワードの入力を必要にする。

「お父さんに教えてもらったサイトをもう一度みてみたいなあ。でも、誰もいないしなあ。まあいいか！勝手にログインしちゃえっと！」よくないことは分かっているけど、保護者が留守の間や夜中にこっそりパソコンを使いたい気持ちってわかりますよね！

使うときは「使っている？」と一声掛け合いましょう。パソコンは勝手に使わないように約束したいですね。さらに、パスワードを設定することは常識的なセキュリティです。万が一、外部侵入された場合でもパソコンを守る役目になります。

### 3. パソコンをウイルスや不正アクセスなどから保護するソフトをインストールする。

「あれっ！パソコンがうまく作動しないぞ」「何だこれは！文字が漢字ばかりになってるぞ」インターネットに接続するということは、世界中のパソコンとつながっていること。その中には、悪意を持ったユーザーが操作するパソコンもたくさんあります。

パソコンをインターネットにつないだら、不正にアクセスされないようにする必要があります。また、ウイルスからもパソコンを守らなければなりません。これらのソフトをインストールしましょう。

### 4. 使用者(アカウント)の権限を制限し、ソフトのインストール等ができないようにする。

ゲームなどのソフトが無料でダウンロードできたとしたら、つついインストールして遊んでみたくなりますね。でも、安心安全なソフトばかりではありません。ウイルスに感染したり、架空請求等の被害にあったりすることも考えられます。

ソフトを勝手にインストールできないように、子どもの使用権限を制限しておきましょう。そして、その理由を話して、インストールしたいソフトがあるときは、保護者がインストールすることにしましょう。

## 5. 閲覧可能サイトを制限し、性的・暴力的な描写から子どもを守る。

インターネットで、好きなアイドルやスポーツ選手の情報を集めていると、「熱烈なファンのあなただけに、とっておきの情報があります。」という広告が、目につきました。思わずクリックすると、心が凍りつくような残酷な映像が…。

Webブラウザの閲覧制御機能を有効にしておきましょう。性的な描写、暴力や言葉を何段階かのレベルに分けて制限することができます。また、その設定を変更したり、無効にしたりするためには、パスワードの入力が必要にしておくことです。

## 6. 長時間使わせない。夜遅くまで使わせない。

オンラインゲームやチャットに夢中になって、気がつけば日付が変わる毎日。今日も睡眠不足、昼夜の逆転だ。「最近なんだかパソコンの前に座らないと落ち着かないなあ。」「メールチェックを忘れていた。気になるなあ!」

パソコンよりも、友だちと遊んだり、家族と話をしたりする時間も大切です。時間を守ってパソコンを使うことを約束させましょう。使い続けると依存症や視覚異常など精神や身体への悪影響をもたらす可能性があります。

## 7. 勝手にショッピングやオークションの利用をさせない。

「なかなか手に入らないゲームソフト。前から欲しかったキャラクターグッズ。そうだ、インターネットで探してみよう。…あつた、あつた。よーし、オークションに参加しちゃえ。

高額な商品を購入してしまったり、落札したはずの品物が届けられなかったりするなど、ショッピングやオークションの利用には落とし穴がたくさんあります。子どもだけで利用させないようにしましょう。

## 8. 迷惑メールやチェーンメールなどは、以後の受信を拒否する対策を行ったあと、開けずに削除し、添付ファイルも開かせない。

「あれっ、覚えのないアドレスのメールだなあ」「…このメールを10人に転送せよ。できなければ…」おかしいメールが、あらゆる手段を使って送られてきます。あなたならどうしますか？

迷惑メールやチェーンメール、知らぬ人メールや購読を申し込んでないメールマガジンなど、怪しいメールは開けずに削除しましょう。プロバイダーに迷惑メールとして通知することも忘れずに。添付ファイルは絶対に開かないようにさせましょう。

## 9. 危険なサイトにアクセスさせない。怪しいボタンやバナーはクリックさせない。

誘い文句に乗って興味本位でバナーをクリックしたら、とんでもない金額を不当に請求された。「退会手続き」のボタンを押したら、高額な利用料金を架空請求された。こんな目に会いたくはありませんね。

お得な話やおいしい話は疑ってかかり、興味関心をそそられても、怪しい情報には惑わされなくてください。有害サイトは、子どもたちの心と体をむしばんでいきます。「見に行かない」、「クリックしない」そんな勇気を持たせましょう。

## 10. 困ったこと、分からないことは保護者に相談するようにさせる。

「いやがらせのメールが届いた。」「脅迫まがいの高額な料金請求が来た。」「チャットでけんかになった。」「掲示板に悪口を書かれた。」困ったなあ。どうしたらいいんだろう。そんなとき、一人で悩んでも解決しませんよ。

「困ったとき」や「どうしていいかわからなくなったとき」は、必ずお家の人に相談するようにさせましょう。大人の知恵とネットワークが、あなたを必ず救ってくれることを教えましょう。